

# 貧酸素水塊速報 (2007年)

千葉県水産総合研究センター(編集)  
 神奈川県水産技術センター  
 内湾底びき網研究会連合会(千葉県)

協力:海上保安庁海洋情報部  
 協力:千葉県環境研究センター  
 協力:東京都環境局  
 協力:第三管区海上保安本部

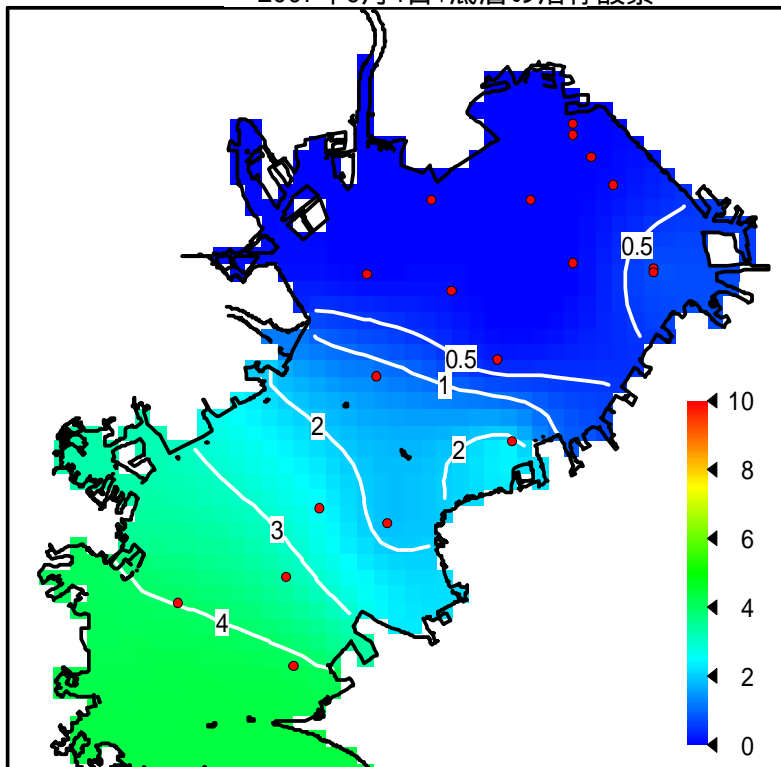
内湾北部では貧酸素化が強まっており、底層のDOは1.0ml/L以下でした。鉛直分布図で見ると、底層の顕著な貧酸素水塊は内湾中央の深場から湾奥へ移動していました。一方、同海域の表層は赤潮に伴いDOが高く、過飽和状態でした。

今後、風向きや赤潮の変動次第では、内湾奥部のごく表層に貧酸素水塊が湧昇する可能性があります。注意が必要です。なお、9月2~3日に千葉港や三番瀬で青潮が発生した模様です。

内湾奥部は、水色が褐色、透明度1.5m以下の濃い赤潮でした。出現プランクトンの優占種は珪藻のスケルトネマ(*Skeletonema costatum*)でした。

表層の水温は24~26 でした。

2007年9月4日:底層の溶存酸素

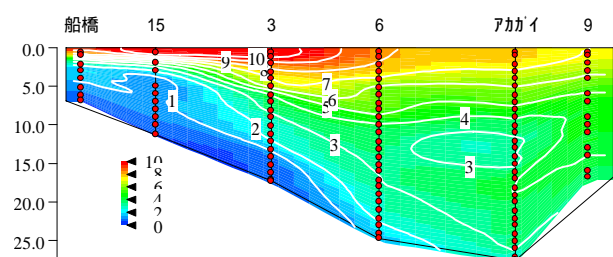


底層の溶存酸素量分布(ml/L:速報値)  
 平成19年9月4日観測分

## 酸素飽和度と溶存酸素量の目安

酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5ml/L	貧酸素水
30~40%	2.0ml/L	魚類に影響
	1.5ml/L	貝類危険
	1.0ml/L	
10%	0.5ml/L	

2007/9/4



縦断ラインでの酸素量の鉛直分布

「東京湾貧酸素水塊予測システム」も運用しています。水産総合研究センターのホームページからご覧ください  
 携帯電話は<http://www.awa.or.jp/home/cbsuishi/cbmobile.html> からどうぞ